

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成	事業実施主体	市	
	事務事業	特別支援教育推進事業		事業期間	

【事業全体概要】

事業の概要	特別支援学級及び通常学級に在籍する児童生徒のうち、配慮や支援が必要な児童生徒に対する日常生活上の介助を中心に、学習の補助、児童生徒の安全確保等を行う。センター「みなみ」に高松第一中学校通級指導教室のサテライト教室を設置し、中学生を対象とした通級による指導を、総合教育センターと教育支援センター「みなみ」に発達障がい等をサポートするアシスト教室を設置し、短期個別指導を実施する。				
6年度概要	小・中学校に学校生活支援員（165人、5時間/日）を配置 サテライト教室、アシスト教室の設置				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

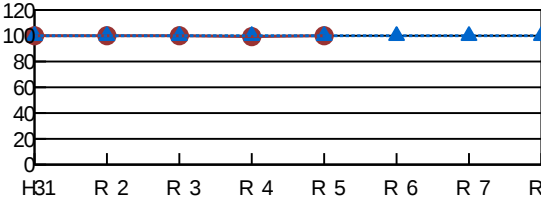
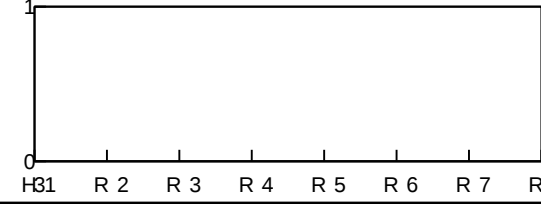
【事業の目的】

対象（何を）	特別支援学級を設置している市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
支援員延べ活動時間数	時間	67,925	154,500	153,178	165,000	155,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	学校生活支援員配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	99.3	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 特別支援教育推進事業は、市立小・中学校における特別支援教育を推進する上で大きな役割を果たしている。学校側からの評価も高く、学校教育の充実に大いに寄与している。	(目標達成度)						(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	124,447	173,664	183,588	208,912
（事業費）	[千円]	116,897	158,696	168,534	193,858
（職員人件費）	[千円]	7,550	14,968	15,054	15,054

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各校のニーズに応じた配慮や支援を求められており、配置等について適宜対応を行う必要がある。対象児童生徒の増加や、保護者からの個別のニーズの高まりもあり、今後一層の充実を図るため、学校生活支援員を増員しており、今後の事業効果の向上が見込まれている。

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	帰国児童等指導援助事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	市立小・中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導助言を行う指導者を派遣し、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるよう日本語指導を行い、学校生活を支援する。				
6年度概要	○帰国児童等指導援助（月2回程度） 報償費（指導援助者謝金） 傷害保険料等				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

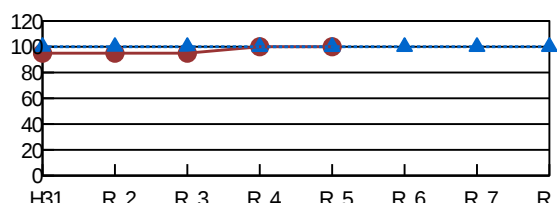
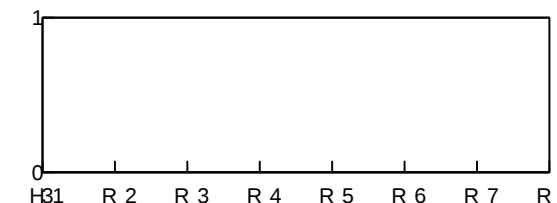
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	日本語指導の必要な児童生徒に日本語指導や生活指導を行うことにより、学校生活への円滑な適応を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
派遣延べ回数	回	655	790	922	1,000	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	帰国児童等の学校生活への適応率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	95	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、概ね目標どおり達成できた。 (目標達成度)	 H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8						(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
			実績値					
成果指標		 H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	7,601	8,599	9,449	10,855
（事業費）	〔円〕	3,826	4,857	5,685	7,091
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 社会の国際化による外国人児童生徒の増加に伴い、対応児童生徒の増加と対応言語の複数化に備える必要がある。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成	事業実施主体	市	
	事務事業	学校教育推進事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小・中学校に経費補助を行う。				
6年度概要	○全ての市立小・中学校に経費補助を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

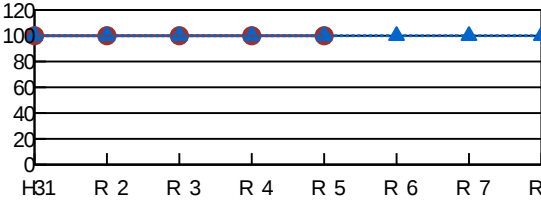
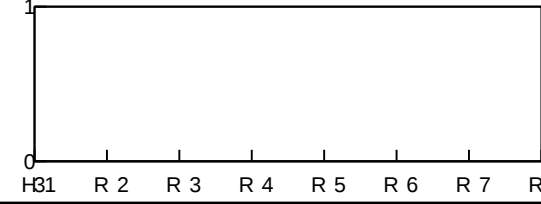
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	地域人材等を活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
事業実施校数	校	70	70	70	73	73

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	総合的な学習の時間における地域人材活用率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地域人材等の積極的活用や、多様な人材確保のための情報収集等により、目標は十分に達成できている。 (目標達成度)	 H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8						(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
			実績値					
成果指標		 H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	9,049	10,581	10,878	11,032
（事業費）	〔円〕	6,029	7,587	7,867	8,021
（職員人件費）	〔円〕	3,020	2,994	3,011	3,011

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 学校ごとに特色ある教育を充実させるための経費として、強い要望がある補助事業である。今後においても、学校からの意見も取り入れつつ充実させていく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成	事業実施主体	市	
	事務事業	教材研究等事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図る。 新学習指導要領に対応した教師用指導書を支給し、学力の育成を図る。				
6年度概要	教師用教科書等の購入 教師用副読本等の購入 採択協議会				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

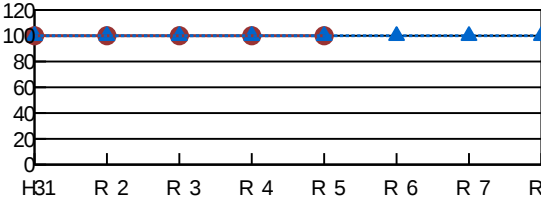
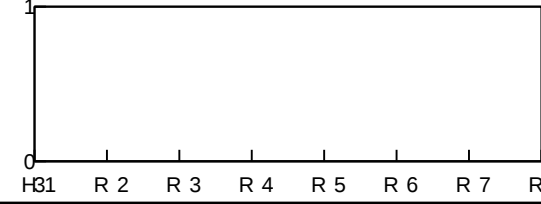
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の教員
意図（どのような状態にしたいか）	授業内容を確実に理解し、確かな学力を育むことができるよう、一人一人の理解や習熟の程度などに応じたきめ細かな指導を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
教師用教科書購入冊数	冊	9,011	986	3,559	20,000	2,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	高松市立小中学校教員への配布率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 100.0%
	市が設置する小・中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。							35点
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	62,654	9,498	9,840	218,124
（事業費）	〔円〕	58,879	5,756	6,076	214,360
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
少人数学級や加配教員の配置などに伴い、学校現場から指導書等の必要数増の要望の精査を行い、適宜、配付基準を見直す必要がある。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-2163
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	教育相談・就学指導委員会開催事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	心身に障がいのある児童生徒の自立と社会参加を目指す教育の実現に向け、教育相談を行うことで特別な支援を必要とするかもしれない就学児の現状を把握し、特別支援教育に専門的な知識と深い経験を持つ医師や、大学教員、特別支援教育関係者等で構成する就学指導委員会にて、児童の障がいの種類、程度の的確な判断をし、適正な就学指導を行い、個に応じた学びの場を選択でき、適切な教育を受けることができるようにする。				
6年度概要	○教育相談（年14回）○教育支援委員会（年6回） ○特別支援教育の推進に係る補助金の交付（・高松市中学校特別支援学級ふれあい交流会事業補助 ・香川県特別支援教育研究会補助 ・香川県特別支援学級・通級指導教育設置学校長協会補助）				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

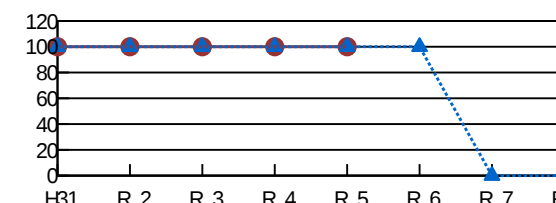
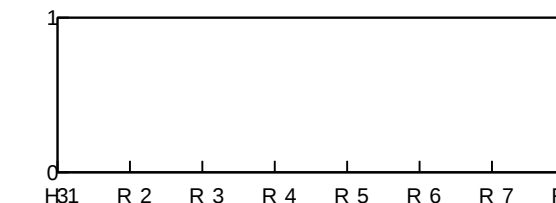
【事業の目的】

対象（何を）	市内の幼児・児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	未来を担う子どもたちの「生きる力を育む教育の充実」には、多様なニーズに対応し、個に応じた教育の充実を図ることが重要であり、そのために子どもの実態を的確に判断して、指導や相談を行うことを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
教育相談・就学指導委員会の開催回数	回	14	14	14	14	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	就学指導委員会判定率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育上必要な判定であり、本事業の実施により個に応じた教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
			実績値					
成果指標								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	8,228	8,136	8,262	8,571
（事業費）	〔円〕	678	652	735	1,044
（職員人件費）	〔円〕	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

教育相談と就学指導委員会を適切に開催することで障がいのある児童生徒が個に応じた学びの場を選択でき、適切な教育を受けるよう支援できた。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も教育相談や就学指導委員会（R 6からは教育支援委員会となる。）を適宜開催し、その上で、教育相談会や就学指導委員会の回数増や常設の相談窓口を設けることも考え、子どもたちが個に応じた教育を受けることができるよう取り組んでいく。
--

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	英語教育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「語学指導等を行う外国青年招致事業」（JETプログラム）による外国語指導助手（ALT）を市内小中学校に派遣することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育の充実を図る。また、市内小学校に学級担任を補助する「英語指導補助員」を配置する。英語・外国語活動の授業だけでなく、ALTとの様々な活動（休み時間の活動や学校行事等）を通して、児童生徒のコミュニケーション能力の育成と、国際理解教育の推進を図る。				
6年度概要	○小・中学校に外国語指導助手（ALT）、小学校に英語指導補助員を派遣を派遣 報酬等 旅費 家賃等				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

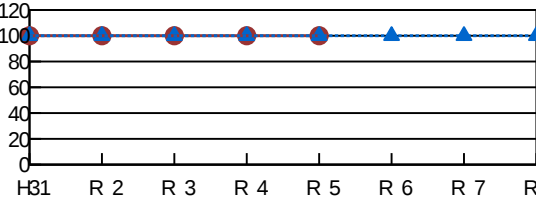
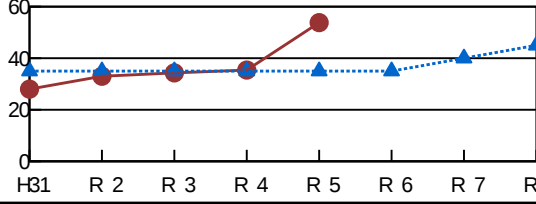
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	外国語指導助手（ALT）等の指導を受けることにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力向上と英語指導補助員が小学校教員（3～6年生）をサポートすることで、より楽しく効果的な授業づくりを補助する。また、教職員の資質の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
外国語指導助手（ALT）延べ授業日数	日	3,990	3,351	3,248	4,180	4,180
英語指導補助員延べ派遣時間数	時間	4,765	5,536	5,190	4,885	4,885

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	外国語指導助手（ALT）配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） コロナ禍によるALTの欠員についても、人材派遣の委託を活用することにより、100%の配置率を維持することができた。							（達成度） 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	英検3級相当の英語力を有する中学3年生の割合	%	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	34.3	35.4	53.8		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 英語教育の充実に向けたより効果的な施策の実施により上昇しており、概ね目標を達成することが出来ている。							（達成度） 153.7% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	134,531	116,348	112,812	116,144
（事業費）	〔円〕	119,431	101,380	97,758	101,090
（職員人件費）	〔円〕	15,100	14,968	15,054	15,054

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。小規模校へのALT派遣に委託を導入することにより、事業効果が向上した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
現在の成果を維持しつつ、令和2年以降の5・6年教科化、3・4年外国語活動必修化を受け、派遣時間数を増やすなど、小学校英語の充実を図る必要がある。			

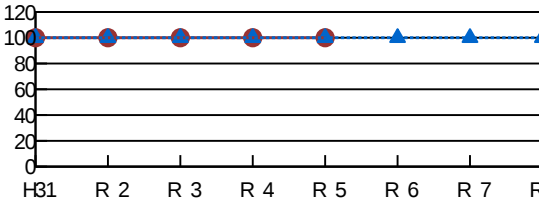
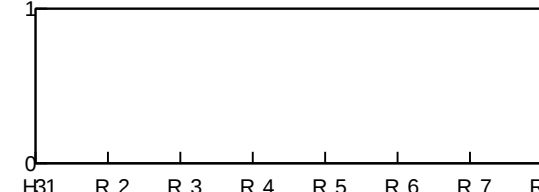
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成	事業実施主体	市	
	事務事業	児童生徒副読本支給事業		事業期間	

【事業全体概要】					
事業の概要	学校教育における補助教材として、道徳用、社会科用の副読本を支給することにより、教育の充実を図る。				
6年度概要	○児童副読本の購入 ・道徳（わたしのふるさとかがわ） ・社会（高松の今と昔、3・4年生）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】	
対象（何を）	市立小学校の児童
意図（どのような状態にしたいか）	学校での社会科の指導や道徳の時間などに活用し、教育の充実を図る。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
児童生徒副読本購入冊数	冊	13,267	14,884	14,458	13,000	13,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	児童生徒副読本配布率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市が設置する小学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成することができた。 (目標達成度)		 (達成度) 100.0% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		 (達成度)						

【コストの推移】					
指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	9,966	10,064	9,954	9,984
（事業費）	〔円〕	6,191	6,322	6,190	6,220
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク (A ~ D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
各小学校に対して、より一層の活用を促していく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校英語教育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	選択コースとして国際文科コースを創設し、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語による授業、海外語学研修を実施するなど、多様な手法により国際化に対応できる人材の育成を図る。				
6年度概要	姉妹都市招聘講師報酬等・国際文科コース海外研修引率旅費				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

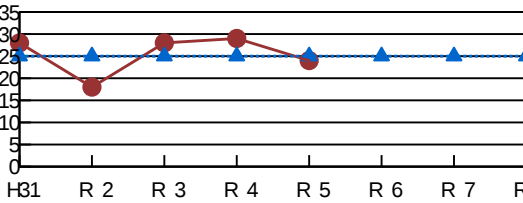
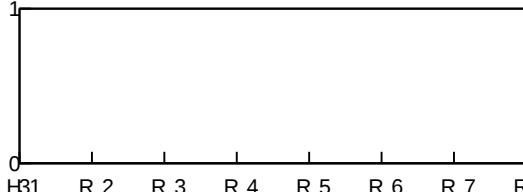
【事業の目的】

対象（何を）	全校生徒
意図（どのような状態にしたいか）	外国人招聘教師と生徒との交流、海外語学研修でのホームステイを行い異文化を体験し、生きた英語を学ぶ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
招聘講師の授業回数	回	24	22	22	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	国際文科コース卒業生の国公立大学合格者数	人	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	28	29	24		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 外国からの招聘講師による授業等を実施し、英語教育の推進を図っている。国際文科コースからの国公立大学の合格者数は、前年度と比べて減少した。 (目標達成度)	 (達成度) 96.0% 33点						
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	 (達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	41,198	41,080	43,651	4,738
（事業費）	〔円〕	3,448	3,660	6,016	4,738
（職員人件費）	〔円〕	37,750	37,420	37,635	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 国際文科コースにおいて、外国からの招へい講師による授業や外部講師による英語での授業を実施した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後とも、実用的な英語教育を実施することにより、国際化に対応できる人材の育成を図る。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校教材研究等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	教師用教科書・指導用図書の購入を始め、ピアノの調律、パソコン等の賃貸借、教育備品の購入等、直接的に教育に関わる教材の管理・整備に要する事業である。				
6年度概要	教師用教科書・指導用図書の購入を始め、ピアノの調律、パソコン等の賃貸借、教育備品の購入等、直接的に教育に関わる教材の管理・整備に努める。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）

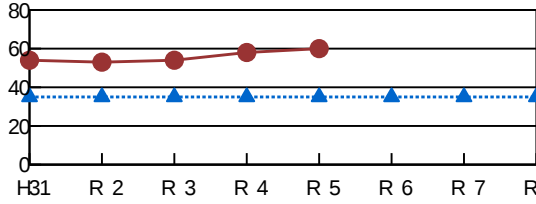
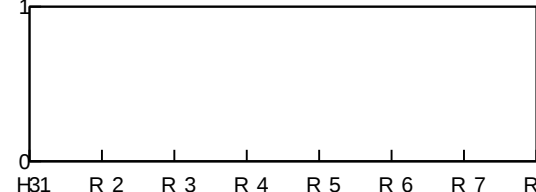
【事業の目的】

対象（何を）	生徒
意図（どのような状態にしたいか）	生徒の学力を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
備品の整備（生徒用机・椅子）	台	0	0	0	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	国公立大学の合格率	%	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	54	58	60		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 171.4%
	教育関係の備品等を整備することにより、生徒の学力の向上を図り、国公立大学への合格率は上昇傾向である。							35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	148,422	149,542	149,460	36,230
（事業費）	〔円〕	27,622	29,798	29,028	36,230
（職員人件費）	〔円〕	120,800	119,744	120,432	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

教師用教科書・指導用図書及び理科・数学などの教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコンの賃借など、教材等の管理・整備を行ったことにより、教育環境の充実に効果があった。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

教育備品の購入等、直接教育に関わる教材等の管理・整備を引き続き実施し、教育環境の充実を図る。
--